

## 第13回JDSフォーラムレポート

全国のケーブル事業者様の経営に資する情報を提供する場として、毎年開催しているJDSフォーラムも今回で13回目を迎え、11月12日(火)に開催した。今回は65事業者、115名の方が参加された。

今回のフォーラムでは、全国のケーブル事業者様が各地の地方創生に取り組み始めている中、東京大学公共政策大学院 客員教授 増田寛也様をお招きし、「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」の内容を中心に、ケーブルテレビ事業経営との関わりやヒント、アイデアについてご講演いただいた。

弊社からは、次世代ケーブルプラットフォームについて取締役専務執行役員 橋本幸典が講演した。以下、そのレポート。



### 東京大学公共政策大学院 客員教授 増田寛也様 講演

#### ◆経歴

東京大学法学部卒業後、建設省(現 国土交通省)入省。その後、千葉県警察本部交通部交通指導課長、茨城県企画部鉄道交通課長などを経て、岩手県知事や総務大臣を歴任された。現在、東京大学公共政策大学院客員教授を務め、地方創生や人口減少などをテーマに活動を行っている方である。



#### ◆まち・ひと・しごと創生法の公布から5年経過して

「人口減少に歯止め」「東京圏への過度な人口集中の是正」「各地域で住みよい環境の確保」の3つの目的を元に公布されたが、地方では首長の危機意識の高さやリーダーシップにバラつきがあること、相対的に人材不足もあり、課題が残存している状況である。

#### ◆東京圏への転入超過数

増田氏は当初、東京圏への転入超過数(1年間で転入者が転出者を上回った人数)は大都市ほど男女差が小さいと予想していたが、実際にデータ集計を行ったところ意外にも大都市ほど男女差が大きいことが分かった。人口増加が著しい福岡では他の大都市に比べても女性の転入超過数が特に多いという結果であった。一方、神戸では男性の方が東京圏への転入超過数が特に多いという結果であった。また、年代別の推移では20歳~29歳の東京圏への転入超過数が年々増加傾向にあることが分かった。

このような地域ごとの人口増加比、人数比、性別比、年齢比などから転入超過数の推移の原因を解明し、住みやすい環境を作っていくことがまち・ひと・しごと創生法第2期目(2020~2024年)の大きな課題となってくる。

#### ◆東京圏人口の増加

全国的な出生数の減少に加えて、地方圏から東京圏への人口の流出は増加傾向にある。

出生数をみても1980年代後半以降、全国に占める東京圏の人口割合は増加しており、「地方を知らない東京圏出身者割合」が増加傾向にあることが分かる。これは、地方出身者が地元に戻り就職する「Uターン」が徐々に成り立たなくなることを示している。

このことから、地方で就職する若者の数がさらに減少してしまうおそれがあり、東京圏への人口の一極集中を加速させてしまっている。

#### ◆地方都市のスポンジ化とコンパクトシティ

全国各地域で都市計画が始まって以来、人口増加を見越して市街地をより整備するために市街化区域を設定し、市街地拡大を行ってきた。しかし、人口増加は進まず、市街地はインフラが目の粗いスポンジ化してしまった。

そのため、スポンジ化してしまった市街地の中心部で行政、公的な部門が有効な土地利用をすることでコンパクト化(コンパクトシティの構築)し、その地域に住む人の安心感や利便性向上につなぐことが必要となる。

#### ◆第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について

第2期の新たな視点として増田氏は「関係人口の創出・拡大」と「Society5.0」の2点について触れられた。

定住には至らないが特定の地域に継続的に多様な形で関わる「関係人口」を増やすことで、地域課題の解決や将来的な地方移住へ向けた裾野が拡大するだろう。また、Society5.0時代になり遠隔治療や遠隔教育などが進めば地方に住むハンデが減り、人口の流れに大きな変化が期待できるだろう。

#### ◆解決のカギ

「人口減少に歯止め」「東京圏への過度な人口集中の是正」「各地域で住みよい環境の確保」の3つを解決するためのカギは、地方の消滅を防ぐという危機感を本質的な行動に移すことである。

その中でも「作る」より「伝える」に軸足を移すことが大切である。これは地方にも作り手が勢いある中、外部へ伝えることができているからである。作ったものをいかに見てもらうか、奇をてらうのではなく街全体で一貫したものを推すことが重要だろう。

#### ◆今やるべきこと

また、危機感を本質的な行動に移すためには常識にとられない大胆な変革が必要となるだろう。未来に向けてどのような投資をするのか、どのように次に備えるのかということはこの時期に考えなくてはならない。特に世の中でデジタル化が進んでいく中で、ケーブル事業者は多様なニーズに対応して欲しい。

今年は災害も多かったことから今後災害時に個々人の動きをどのように伝えていくかが重要になってくる。そこで、他のケーブル事業者やOTT事業者との連携が求められるだろう。また各地域で誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる社会を実現して欲しい。と、ケーブル事業者が地域の中心者として取り組んでいくことについて言及された。

### 日本デジタル配信株式会社 取締役専務執行役員 橋本幸典 講演

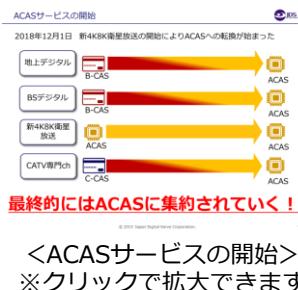


#### ◆4K/ACAS

今年の3月25日より配信を開始したACAS向け配信サービスは11月12日時点で19事業者様にご利用いただいております。主に「ACASマイグレーション」「4Kコンテンツの訴求」「HD化」という観点から導入されている。

#### 4K/ACASのポイントとして、「ACASへの移行」

「多チャンネルコースの魅力化」の2点があげられる。将来的に現行のB-CAS、C-CASをすべてACASにマイグレーションしていく動きもスタートしている中、どのくらいの期間で完了させるのが重要となる。マイグレーションを進めていくにあたり、獲得強化、解約防止のために4KやHD化でより魅力的なコースを準備し、加入者様に展開して行くことも重要と考えている。



また、ACAS向け配信サービスをご利用いただいている事業者様がACAS用販売コースに含めて加入者様に訴求されているケーブル4Kは、今年の10月より日替わり編成となったため、より多くの番組を放送することが可能となった。**全国統一編成による4K専門チャンネルはケーブル4Kのみ**のため、4Kコンテンツの充実にも貢献できるチャンネルとなっている。

#### ◆みるプラス

今年の10月9日にSTB主要3メーカーでみるプラスの新UI/UXの対応が完了した。これまでのUI/UXに比べて、コンテンツの選択が容易になり、あいまい検索機能などの搭載により利便性が向上した。

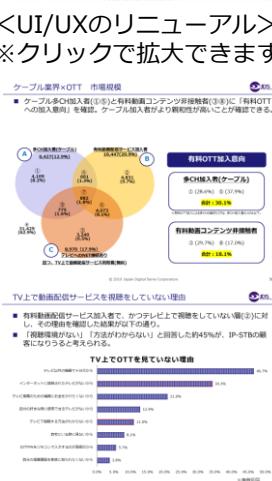


#### ◆IP-STBの調達と販売

ケーブルIDと連携したサービスはOTT事業者とも進めており、今年7月からHuluとの連携がスタートした。

今後さらなるOTT事業者との連携も検討している中弊社ではマーケットの規模を把握するため、5万人に対して市場調査を行った。その結果、OTTサービスに加入している加入者様の過半数がTV上で視聴していないことが分かった。

このような結果からOTTサービスに対応するため、弊社ではケーブル事業者向けIP-STBを調達し、来年2月から販売開始することを決定した。



※増田様講演資料は[コチラ](#)からダウンロードできます。  
※弊社講演資料は[コチラ](#)からダウンロードできます。

## ケーブル4K

### 12月のおすすめ

#### 1) 「ケーブル4K」採用事業者情報について

■2019年12月1日時点：71事業者

#### 2) 「ケーブル4K」12月の編成情報について

##### ① Merry X'mas from ケーブル4K



恋人がサンタクロースでなくても、きっと君が来なくても、毎年このロマンチックな季節はやって来る。

手作りならではの温かみのある映像と、かわいくてほっこりするストーリーは聖なる夜にぴったり。

©TAIYO KIKAKU Co.,Ltd./EXPJ,Ltd

##### ② 地域の魅力SP ～年末年始はケーブル4Kで里帰り～



年末年始に帰省する故郷がありますか？  
どんなに離れて暮らしていても、心に思い浮かべた場所こそがあなたの心のふるさと。

毎年帰っている人も帰らない人も、今年  
はケーブル4Kで里帰りしませんか？

©JCTA

その他オススメ番組や編成情報については、以下HPをご参照ください。

■HP URL : <http://www.cable4k.jp/>

## ケーブルID

### ケーブルID関連サービスのご紹介

JDSフォーラムにてケーブルID関連サービスの展示をしました。

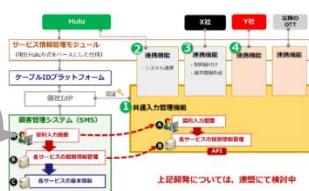
#### 1) 「サービス情報管理モジュールの機能拡充」

サービス情報管理モジュールを下記の通り機能拡充します。



#### 機能拡充

- ① 手動申込からオンラインへ
- ② OTT都度のSMS改修費低減



#### 2) 「ケーブルスマホマイページアプリ」

スマホ利用者の目線で“かんたんに”、“わかりやすく”、“べんりに”使える機能を備え、データ残量や利用量、通話明細をご確認頂けます。ケーブル事業者様が利用可否を選択するだけでご使用開始となります。

#### 3) 「IDクラウドサービス」

オンラインサービスへの適応のため下記サービスをご提供します。

- ① 利用サービスへの認証情報
- ② サービス毎の認証・認可
- ③ IDを利用した補完サービス (MVNO・みるプラス)

## 業務支援サービス

### メール/Webサービスの導入効果 (SPAMメール送信監視)

弊社のメール/Webサービスは、クラウド経由でご利用いただくサービスです。本サービスをご利用いただくことにより、各ケーブル事業者技術担当者様の業務負荷軽減とインターネットサービスの品質向上を同時に実現できます。

今回はSPAMメール送信監視についてご案内します。

### オンプレミスシステムによる発生事象



### 弊社メール/Webサービスご導入後



SPAMメールによるレピュテーションスコア低下を未然に防止、サービス品質向上及び業務負荷軽減に貢献します。

## みるプラス

### 12月のおすすめ

みるプラス今月のオススメ作品はこの3本！

#### 1) 「ライオン・キング」(12/4配信)

世界中で愛されるディズニーアニメの傑作がアニメーションを超えた“超実写版”として現代によみがえる！ 賀来 賢人や江口 洋介といった豪華俳優陣の吹替にも注目です！

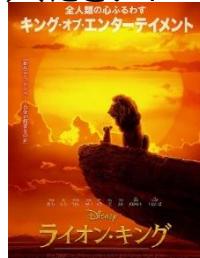
#### 2) 「ワイルド・スピード/スーパーコンボ」(12/11配信)

ワイスピファンにはおなじみのルークとデッカーがタッグを組んで戦いに挑む！ 期待を裏切らないド迫力のカーアクションや激しいバトルに興奮間違いなし！

#### 3) 「コンフィデンスマンJP ロマンス編」(12/4配信)

嘘はいつだって真実より魅力的。史上最大の騙し合いが始まる！！ 舞台は香港、狙うは伝説のパープルダイヤ。予測不可能な展開に最後まで目が離せません！

お正月にふさわしい豪華な作品が盛りだくさん！ 12月もみるプラスでお楽しみください！



## 自治体向けサービス

### 防災サービス

JDSフォーラムにて防災サービスの展示をしました。

#### 1) 「スマートシティ ダッシュボード」

スマートシティダッシュボードでは、共有プラットフォームにある地図上へと地域データや防災関連データの可視化表示を行います。



<ダッシュボード画面イメージ>

#### 2) 「テレビ・プッシュ」

提供：イツ・コミュニケーションズ(株)

自治体の配信する「防災情報」や、身近で便利な「生活情報」を音声とテレビ画面で自動的にお知らせするサービスです。1つのデバイスで日々の生活に安心・便利をお届けします。



<テレビ・プッシュ 通知イメージ>

#### 3) 「Spectee」

提供：(株)Spectee

今この瞬間に起きている事件・事故・災害等の情報をリアルタイムに知ることができる「SNSリアルタイム速報サービス」です。

#### 4) 「AIアナウンサー 荒木ゆい」

提供：(株)Spectee

様々なニュースシーンにおいてより人に近い自然な発音やアクセント、イントネーションを習得し、自動で原稿を読み上げるバーチャルアナウンサーです。

■お問い合わせ：公共サービスグループ Mail : [public@jdserve.co.jp](mailto:public@jdserve.co.jp)

## MVNO端末

### AQUOS sense3 (SH-M12) 新発売！

11月27日に発売されたAQUOS sense3(SH-M12)をご案内します。こちらはAQUOSシリーズ史上最大となる4000mAhのバッテリーを搭載。省エネ性能に優れたIGZOディスプレイも搭載しており、その高い透過率でLEDバックライトの消費電力を抑えるとともに、画面の書き換えを制御することで、静止画表示の消費電力を低減。これにより**1週間の電池持ちが実現しました！** ※お客様のご利用状況によって下回る場合がございます。

幅70ミリの程よいサイズ感。大容量バッテリー搭載でもこれまで同様の持ちやすさのまま。充電を気にせず動画やゲームも楽しめますので、毎日により素晴らしいものにしてくれるでしょう！



AQUOS sense3(SH-M12)

- ◎ブラック・シルバーホワイト・ライトカッパーの3色となります。
- ◎1台からでも購入が可能です。
- ◎価格・在庫についてはお問い合わせください。

#### ◆連絡先◆

JDS物販窓口：大橋、梶谷  
[welcome-j@jdserve.co.jp](mailto:welcome-j@jdserve.co.jp)